

活動報告書 9月号

2021.8.31

モーニングセミナーピックアップ

8月7日 梶本文喜氏



テーマ: 社長職を譲るにあたり

「効率×能率＝生産性」の様に、経営には言葉の定義が大切と話す、株式会社ケーイーコーポレーション会長の梶本さん。息子さんに社長業を譲り安堵感と充実感が伝わります。梶本親子という父子の形がそこに在りました。

8月21日 澤谷 直行氏



テーマ: 足下を掘る

「足下を掘れ」とは創始者・丸山敏雄先生の著書「青春の倫理」の中の言葉だと話す、澤谷方面長。問題解決法もチャンスも自分の足下があり、その3つの要点について教えて頂きました。行動規範は「自ら風を起こす」でした。

新規ご入会おめでとうございます！



住友生命保険相互会社
静岡支社 静岡東支部 所長

山口 美絵 氏

8月7日に静岡県倫理法人会の磯部祐子さんの紹介でご入会されました。実は当会会員の金井さんの飲み友達とのことです。



居初油化工業株式会社
代表取締役

居初 邦夫 氏

8月21日に当会幹事の飯塚修さんの紹介でご入会されました。約1年間入会を保留し、この度晴れて入会を決心されたそうです。

倫理実践・倫理体験報告



私が身を置く木材業界は、今ウッドショックという巨大な激震に見舞われています。木材価格が高騰する中で、私は主要顧客から価格据え置きを強く依頼されて途方に暮れておりました。その顧客との打ち合せに上京したその足で倫理研究所を訪れ、倫理指導を受けました。主な指導内容は3点。①経営理念に沿った判断をする。②先代ならばどう考え行動するか想いを巡らせる。③妻と心をつなげる。それぞれをじっくりと考え、妻と話し合い行動方針を決定していきました。かなり思い切った決断でしたが、顧客からの信頼を損なうことなく、自社にとっても良いカタチで取引を継続できています。迷った時には倫理指導。倫理法人会に入って本当に良かったと思っています。(影山秀樹 R3年度副会長)

活動報告書 10月号

2021.9.30

モーニングセミナーピックアップ

9月11日 伊藤 勇二 氏



テーマ:実践力を磨く

静岡市倫理法人会では、すでに5回目の講話となる伊藤勇二法人スーパーバイザー。実践力の要諦は①自分を変える(自己革新)②小さな実践に心を込める(徹底的にやる)③事業繁栄の鍵は夫婦にあり、と説きます。

9月18日 大竹 美保子 氏



テーマ:水のごとく生きる

倫理歴20年の大竹美保子法人アドバイザー。「根のある花は又咲ける」「あるものないものも全て“与えられしもの”」「身の回りに2回起きることは何らかのメッセージ」などと数々の倫理体験を語っていただきました。

令和4年度 新3役ご挨拶



三浦健二郎 会長

「倫理とは、見えないものを観る学び」



かわもとみえ 専任幹事

「倫理で巡りが良くなる体感を」



内山真佑 事務長

「役職者の魅力、倫友」

令和3年度夏のピクニックツアー



金井さんの娘さんも含め、11名でプチ登山をし、穂積神社を参拝して来ました。あいにくの天候でずっと小雨模様でしたが、全員無事に下山して来ました。神社の裏手の樹齢五百年の杉の巨木群には、とてもパワーを感じました。参加した皆さん、お疲れ様でした。

9月19日 クリーン大作戦



掃除男4人衆、見参。月に一回、いつもお世話になってるホテルアソシアさん、JR静岡駅近辺をお掃除します。落ち葉をかき集めるの

がメインでした。

次回は10月17日(日)7:00~ホテルアソシア前

配布責任者 三浦 健二郎

活動報告書 11月号

2021.10.31

モーニングセミナーピックアップ

10月2日 山内良友氏



『見つめれば見えてくる...必ず』

今年度より静岡県倫理法人会の幹事長に就任した山内良友氏は県下一の規律正しい所作の持ち主。倫理入会の原点はお父様にあったそうです。年度はじめ式の辞令拝受の心得について教えて頂きました。

10月16日 堀田由浩氏



『明朗愛和でがんを原因から直す生き方』

名古屋市中川区倫理法人会の堀田由浩監査は、がんの免疫細胞療法の医師。放射線治療などのがん治療を施しても3人に2人は再発する、時間を稼いでいる間に目に見えない本当の原因を直して欲しいと警告します。

10月17日 秋の満観峰ピクニック



小学生1名を含む総勢10名で焼津の満観峰に登りました。皆さん、お疲れ様でした。頂上は寒くてたまりませんでしたが、剣持さんの作ったおにぎりと

もつ煮、秀樹さんの豚汁に癒されました。ご馳走さまでした。次回はキャンプですね！（倉嶋雅義）

10月17日 クリーン大作戦



今日は朝7時から月イチでやっているクリーン大作戦です。季節柄、落ち葉拾いが主でした。写真は勝利のVポーズです。（高橋みほ）

次回は11月21日(日)7:00~ホテルアソシア前

倫理実践・体験報告



静岡市で中高を過ごし、同級生の影山秀樹さんに誘われ、数年前の帰省でモーニングセミナーに参加しました。だいぶ時間が経ち一昨年初、タイに住み二十二年目の時に、倫理法人会を思い出し、入会しました。以来、タイに届く「職場の教養」を読んでいましたが、昨年のコロナでのオンライン化で人生が変わり、静岡市倫理法人会例会で倫友と初対面 ⇒ 7つの習慣読書会へ参加 ⇒ フューチャーマッピング賢人会を主宰 ⇒ 健康×幸福トークライブを開始 ⇒ 健康経営アドバイザー取得 ⇒ 一社)ブータン・ハピネス倶楽部共同立上げ ⇒ 国際ビジネスグループへの参加へと続きます。私にとって倫理は、海外に住み、日本人として生きるための拠り所になっています。（杉山佳久 会員 タイ在住）

配布責任者 三浦 健二郎

活動報告書 12月号

2021.11.30

モーニングセミナーピックアップ

11月6日 山中 浩晃 氏



『やまのぶ流倫理経営のすすめパート2』

前日のパート1に引き続き、数々の苦難を倫理経営で乗り越えた体験を講話して下さいました山中浩晃豊田市中央倫理法人会会長。今はMSと同じ、仲間を承認する雰囲気、会社を落とし込むのが目標とのことです。

11月20日 宇波 育代 氏



『伝えることが私の使命・子育てを通して感じる自己肯定感の大切さ』

声で人を幸せにできる仕事に憧れてアナウンサーになったと話す宇波育代会員。子育てで悩んでいた時に役立ったのが仕事で身につけた傾聴力。親子共に成長できたのは関わり方を工夫したからと話します。

11月20日 中部4単会実践報告会



当会からは運営委員の居初 邦夫 氏が登壇。たとえ返事が返ってこない相手にも自ら率先して挨拶する実践を続けた結果、思わぬ形で職場で嬉しい成果を生んだと話しました。挨拶こそ全ての基本になると実感し今でも大切に毎日実践しています。(金井 政秀)

だと話しました。挨拶こそ全ての基本になると実感し今でも大切に毎日実践しています。(金井 政秀)

11月21日 クリーン大作戦



朝から掃除すると気持ちいいですね！落ち葉は自然ですが、相変わらずのポイ捨てタバコ、飲み物のストローカップ、ビール空き缶など沢山ありました。(平岡 伸浩)

次回は12月19日(日)7:00~ホテルアソシア前

倫理実践・体験報告



先月京都市美術館にて開催された「国際芸術祭」に出展をさせていただきました。普段の私は、生徒さんの描いてきたデザインを手直ししたり、オーダーをしてくれたお客様の好みのデザインで作品を起す事に徹していますので、自分自身のスタンドグラスの作品を作るチャンスは1年に1度ほどしかないので、楽しく幸せな「私の為だけの作品づくり」は夜に行います。誰もいない工房で、これから使う複数の道具達に「今日もよろしくね」とタッチしてから作業を始め、上手くカット出来たり組めたりした時には「んも〜♡ありがとう！」と口に出して言うという、側から見たらちょっとヤバイ実践を行ってみました。制作のスピードがこれまで以上に早かった事、たいした怪我もなく関西の先生方に作品をお褒め頂いたのは...これらの実践のお陰様なのではないでしょうか？(かわもとみえ 専任幹事)

配布責任者 三浦 健二郎

活動報告書

1月号

モーニングセミナー ピックアップ

12月11日 村上 実氏

12月25日 丹治 陽子氏



テーマ：打つ手は無限

テーマ：第三章(振り返り・気づき・実践)

村上実法人SVは、中川区倫理法人会会長時代に、年間参加社総数全国1位 5年連続白い特別行動旗を獲得し、愛知県会長時代は年間を通じて全28単会100社以上を維持(全国都道府県初)しました。祈り・休眠・炎(会社が火の車)の3人のユニークな専任幹事と会を運営し、スーパースターはいなくてもやれる！と断言します。

私の人生は現在第三章だと話す、丹治陽子静岡県女性副委員長。小学生の時に両親が離婚、海外に飛び出した第一章、大恋愛の結婚と事業の上での大苦難の第二章、倫理への入会と最愛の母の死の第三章を経て「自分で光を探す」ことを体得してきました。倫理は全てがメッセージだと話します。笑いあり、感動ありと、素晴らしい女子活MSとなりました。

居初さん、県でも発表

クリーン大作戦



12月14日の丸山敏雄先生の命日に合わせ、静岡県倫理法人会で感謝・報告の会が催されました。中部地区代表として運営委員の居初さんが体験発表をしました。



今朝は、今年最後のクリーン大作戦でした。JR静岡駅付近や、いつも会場を使わせて頂いているホテルアソシアさんの周りのゴミ拾いをします。先月断念したホテル裏手の側溝の落ち葉を、仲間と協力して拾い切りまし

た。心の引っ掛かりが取れて、何だかとてもスッキリしました。
(幹事 小吹真司)

※次回は1月16日(日)朝7:00~ホテルアソシア前です。

倫理実践・体験報告



2021年は多くの実践を致しました。その中で自分の言動・行動に変化がある実践が、『毎朝万人幸福の葉を読む』実践です。読み忘れた日などは、余計な一言で険悪になったり、わがままがでてトラブルになったりが多いように思います。葉を毎日読むことで、自然と行動にブレーキがかかり、心にゆとりが出来ているのかもしれませんが。実践を会社の業績に表れるまでやり抜いたかと言われると、まだまだ及びません。社長3年目はあまり良い結果を残すことができなかつたので、2022年は初心にかえり、よろこんで苦難を乗り越えて行けるよう全力をつくします。来年のどこかで『はじめの一步』の実践報告ができればと思います。
(県中部地区副地区長 倉嶋雅義)

活動報告書

モーニングセミナー ピックアップ

1月15日 松尾 隆徳 氏



『事業承継と倫理～弱者のたたかい～』

春日井市倫理法人会相談役の松尾隆徳氏は、東洋電機株式会社の元会長です。事業承継とは後継者を育て譲る事ではなく、企業で働く皆様を幸せにすることを継続する事だと説きます。仕事・収益の多角化から徳のある人間になるという社長のあるべき姿まで貴重な体験談を話して下さいました。その背景にはお父様の教え(倫理経営)が確かにありました。

1月22日 星川 テルヨ 氏



『倫理と断捨離』

「他単会での講話は初めてで緊張しています」と話す星川テルヨ浜松西倫理法人会女性委員代表。断捨離トレーナーでもある星川さんは、万人幸福の葉と断捨離を対比しながら断捨離の要点を教えてくださいました。家も身体も心も「命の入れ物」で新陳代謝が必要なのだそうです。倫理のお役を受けて「いつも逃げてきた自分と向き合う時が来た」と話します。

新入会員ご紹介



12月18日に入会した曾根由泰さんです。某銀行グループ会社を退職し、新たな事業を画策中とのこと。倫理の学びが一助になれば幸いです。

クリーン大作戦



1箇所グレーチングを外して拾い始めたのですが、吸い殻の余りの多さと、中々外れないグレーチングの蓋に逆にやる気が出ました。30分遅れたと思ったのに逆に30分早かったと気がつき、笑っちゃったらそのまま楽しく

なりました。朝から気分爽快になりましたね。ありがとうございました。(金井 政秀 幹事)

※次回は2月20日(日)朝7:00~ホテルアソシア前です。

倫理実践・体験報告



昨年、金井様とご縁を頂き、6月4日に初めてモーニングセミナーに参加させて頂きました。初参加の日に講話をさせて頂き…今思うと、凄い事をさせて頂いたんだと思います。参加されていた皆さんが、キラキラと輝き、前向きに学ぶ姿勢に、ただただ素晴らしいと感じ、自分も少しでも皆さんの様になりたいと、その日に入会させて頂きました。参加させて頂くようになり約半年が過ぎました。万人幸福の葉では、一番最初の「今日は最良の一日、今は無二の好機」の一節が好きです。今日はまたとめぐってこない。昨日は過ぎ去った今日であり、明日は近づく今日である。今日の外に人生はない。人の一生は、今日の連続である。今日を続けていけるだけで素晴らしい事だと思います。今日の積み重ねが自分を上げるのかとも思います。人生の最後に自分を褒めてあげられるような生き方をしたいです。まだまだ体験、実践などと言える事はございませんが、多くの学びから、少しでも自分が成長出来ればと思っています。(林志保 会員)

活動報告書

モーニングセミナー ピックアップ

2月5日 影山 陽氏



『繋がる縁に、ありがとう』

名古屋市名東区と静岡市の2つの倫理法人会に所属する影山陽氏。遊び呆けた学生時代、父の会社に勤めるも倒産、自身の離婚、誰の話も信用しまいとツツパって始めた起業時代、全てを失った男が障がい児の職場体験受け入れた縁で、障がい福祉サービスに展開する。全国に先駆けて、重度障がい者を成人後も受け入れる施設を昨年10月に開設。倫理の教えが漸く自分に落ちてきたと話します。

2月19日 酒井 亨介氏



『造園界と自然の法則』

熊谷市倫理法人会の相談役の酒井亨介法人レクチャーは、前日の経営者の集いで、自身に起きた苦難と克服した経緯を話してくださいました。水を使った庭に特化した造園業を始めるもショールーム運営が行き詰まり大赤字。倒産の危機になり倫理指導を受けます。頸椎損傷で施設にいるお父様に相談する時には既に肚が決まっていたそうです。決断の際に「どういう思いで行うか」が大切だと話します。

高橋さん、沼津で講話



2月15日に、沼津市倫理法人会のモーニングセミナーで、当会の女性委員代表の高橋真由美幹事が講話しました。自身の体験を万人幸福の葉と対比しながら話されました。素晴らしい内容でした。

クリーン大作戦



今朝は、月に一度のクリーン大作戦でした。お世話になっているホテルアソシアさんの周囲やJR静岡駅の近辺のゴミを拾います。朝方、雨が降っていたので開催を躊躇しましたが、やる頃には上がっていました。晴れ男ぶり、健在です。

私はとある駐輪場の落ち葉を拾いました。少しやれば、少しですが綺麗になりますね。 (小吹 真司 幹事)
※次回は3月20日(日)朝7:00~ホテルアソシア前です。

倫理実践・体験報告



私は毎晩21時には床に就き、毎朝5時には起きる生活をしています。常に100%の力を発揮できるように休みの日でも早寝早起きをしています。生活のリズムを崩さないことが大切だと実感しているからです。身体が疲れると自分のわがまま勝手が出てきます。ですから一所懸命に仕事をやるけれども、疲れた時は無理せずさっさと休みます。こうした生活をしていると「今日も頑張ろう！」と自然とやる気が湧いてきて、人(特に家族)にもゆとりをもって接することができます。「今日は一生に二日とない幸いの日、又すきがあればどんな危険が襲うかもしれない厄日である」と万人幸福の葉の第一条にあります。これを読んで自分を戒め、一日一日を大切に暮らすことを心掛けています。 (山岸 功宗 幹事)

活動報告書

4月号

2022.3.31

モーニングセミナー ピックアップ

3月12日 影山 伸和 氏

3月19日 渡井 博子 氏



『きる』

万人幸福の葉と自身の失敗談を結び付けてお話頂いた静岡市倫理法人会の影山伸和相談役。色々な動詞の最後に「きる」を付けると良いと話します。第1条日々好日「仕事をやり切る」、第11条万物生々「物を活かすきる」、第15条信成万事「部下を信じきる」、第17条人生神劇「自分の人生を生き切る」。死ぬとは何か？それは生き切ることです。私の社労士の先生がそう言っていましたよ、と花を持たせて締め括りました。



『背中を見せる母ちゃん経営』

1階にカフェ、2階でネイルサロン。美と健康の提供を目指す株式会社ぱれっとの渡井博子代表取締役。40歳から趣味で始めた筋トレも「背中を見せる！」と頑張り抜き、4年目に遂に大会2冠を達成します。3年目になぜこれをやるのかという目的に立ち返り、筋肉の破壊(筋トレ)だけでなく回復(食事)を重視したのが成功要因と語ります。その体験がカフェのオープンや、社員さん達の健康増進に繋がりました。次世代に背中を見せる！と意気込みます。

栗生さんの入会式(3/12)



3月12日に栗生 亜由美さんが入会されました。入会までに遠巡されていた様ですが、終始晴れやかな表情で入会式を行ないました。これから共に学んで参りましょう！

クリーン大作戦(3/20)



第3日曜日の朝は、クリーン大作戦。我が町、静岡を綺麗にします。私は駐輪場の落ち葉を拾いました。時間をかけて徹底的にやりたいたい気もするのですが、30分以内にやり切ることを目指しています。(幹事 小吹真司)

※次回は4月17日(日)朝7:00~ホテルアソシア前です。

倫理実践・体験報告



昨年の夏に父が体調を崩し、生死を彷徨う事態となりました。医者からは「ここ1日、2日が峠だ」と告げられました。今までも、幾つかの持病と闘いながら、数年前から認知症になった父が、今回の件で、流石にもう無理かなと思う程の状況でした。しかし、息子として過去の父との思い出を振り返り、いつも穏やかで、子供の頃から一度も叱られた記憶もなく、見守ってくれていた父に何とか助かってほしいという思いで、何か出来ないかと考えた末、万人幸福の葉の本を忘れず、末を乱さずの中の「世の中にただ一人の私の親だからである」の一文を思い出しました。そして、義父と義母のお墓参りをし、助けて下さいと一心にお願いしたところ、奇跡的に息を吹き返してくれました。携わってくれた全ての人に感謝の気持ちで一杯でした。これも倫理を学んでいたからこそその結果なのかなと実感しています。現在、なかなか倫理活動が出来てない私ですが、葉を読んだり、皆さんの倫理活動を外から拝見しています。今自分に出来る事を常に考えながら、人に優しく接しようと心に決めて、日々を過ごしています。(幹事 玉山 太郎)

活動報告書

5月号
2022.4.30

モーニングセミナー ピックアップ

4月2日 園田 正世 氏



『ママ起業、わたしの方法』

静岡発女性起業家として日経WOMANにも載った北極しろくま堂有限会社の園田正世代表取締役。小学5年生で他県の水泳の強豪校に転入、高卒でトヨタに就職するなど、2000年に起業するまで自分で考え必然性のある選択をする生き方をしてきました。抱っこ紐のネット販売で大ブレイクするも、詐欺まがいの憂き目にも遭います。ならば、だっことおんぶの研究で第一人者になるのだと、東大大学院博士課程に進み研究に励む傍ら、古民家を利用した事業再構築に挑戦しています。

4月23日 安田 厚士 氏



『人生の指針は倫理』

倫理法人会で学ぶ母親を見て育ち、40歳の時に自分も学びたいと思い入会した安田厚士法人スーパーバイザー。17歳の時に父親が失踪・自殺し、以来23年間恨む気持ちしか残らなかったと話します。しかし富士研に参加し「恩の源流」で父に愛されていた事に気がきます。入会2年後に母が死去。生前の思いは「息子が倫理を学んで実践する経営者になること」。やっと母親孝行出来たと思った矢先の出来事でした。両親の死は子供にとって最高のタイミングでやって来る、と話しました。

倫理経営講演会のお知らせ

第一部『朝礼実演』

実演者：株式会社パドックの皆さん

第二部『経営力を磨く』

講師：石川元章氏（法人局法人アドバイザー）

日時：2022年5月21日（土）10:00～11:40（開場9:30）

場所：CSA会議室6-D

参加費：2,000円（事前にチケットをお求めください）

お申し込みは、静岡市倫理法人会事務局

（090-1937-7429）まで

クリーン大作戦（4/17）



今朝は小雨の中、クリーン大作戦でした。雨水も滴るイイ男が5人も揃いました。（笑）平岡さんが可愛い小物をプレゼントしてくれるので、私はお返しに缶ビールをお渡ししました。（笑）まー、色々なゴミが落ちてますわ。（幹事 小吹真司）

※次回は5月15日（日）朝7:00～ホテルアソシア前です。

倫理実践・体験報告



私の会社の若い社員さんがいきなり退職届を出しました。私にとっては正に寝耳に水の事でした。仕事を教え、資格も取らせ、さあこれからという時のことでしたので、残念というよりも怒りの方が勝る状態でしたが、私自身を反省する良い機会ともなりました。それは「社員さんの話や希望を聞いているつもりだったが、それは大きな錯覚で、実際は私が殆ど話していたのだ」ということでした。様々な感情が交錯する中「得るは捨つるにあり」の言葉を思い出し、失うことに焦点を当てるのではなく、その若い社員さんをいかに気持ちよく送り出すことが出来るかに注力してみました。すると、後日、以前に退社したベテランの社員さんから「この会社でもう一度働かせて欲しい！」との申し出がありました。もちろん、OKを出しました。その人は自分のやり方を押し切ることで他の社員と軋轢が生じて退社した経緯があり、最初は心配しましたが、今はまるで別人のように素直になって輪に溶け込む姿勢で働いてくれています。「得るは捨つるにあり」「気持ちよく出せば気持ちよく入る」そういった菜の一文を思い出させる出来事でした。（幹事 飯塚修）

活動報告書

6月号
2022.5.31

倫理経営講演会(5/21)

石川元章 法人アドバイザー



『経営力を磨く-求められる経営者の資質-』

5月21日CSA会議室にて倫理経営講演会が開催されました。第一部:朝礼実演では、朝礼の様子を動画で流した後、代表がコメントする形式でした。一社目の飯塚幹事は朝礼導入の躊躇は自分一人の杞憂だったと話し、二社目の三浦会長は職場の教養で過去の記事と絡めた感想が社員から聞かれたと話しました。第二部:講演会は、沖縄から来た石川元章法人アドバイザーの明るく楽しい講話でした。4年に1度「会社が変わるために」社内で匿名アンケートを行なうそうです。ありがとうございます、ごめんね、愛してる。身内ほど気を遣いなさい、との教えでした。

松濱さん、スピーチ



5/21、中部地区青年セミナーにて、当会の松濱会員がスピーチしました。毎回MSIに参加して気付きを貰った言葉を自分の仕事に落とし込む実践をしているそうです。第2象限の実践の話は「未会員に是非聴いてもらいたい内容だ」という感想

が多く聞かれ、7/2に静岡市MSで講話して頂く運びとなりました。

倫理実践・体験報告



先月、私の大切な友人の一人が単独登山の最中に滑落して亡くなりました。享年63歳でした。家族に行き先を告げずに出掛けたので発見が遅れ、一時、行方不明となっていました。その頃私は彼の事を心配しつつも普段通りの生活を送っていましたが、ある日仕事で車を運転していて、赤信号を無視して飛び出してきた自転車の男の子をもう少しで轢きそうになる体験をしました。もし私が青信号を妄信してアクセルを踏み入れたら大事故に繋がります。二度と同じ仕事を続けることが出来なかったと思います。それは、ある意味、社会的な死を意味します。後日、遺体発見の知らせを受け、他の友人たちとお通夜に参列しました。ただただ悲しかったです。その時、私の頭に浮かんだのは「紙一重だ」ということでした。友人も、滑落したのは本意ではなく、ほんの一瞬の出来事であつたはず。紙一重で逝った友人、紙一重で生きている(生かされている)自分。ふと志賀直哉の小説「城崎にて」の主人公は、あるいはこんな気持ちではなかったか、と思い当たりました。葉の17条「人生神劇」に、小説や映画などは、この人生劇の一部を切りとって解説した説明書である。これを手引きに、地球座人生劇場の、心理の芸術を、満喫しては如何であろう、とあります。悲しい体験ではありましたが、「ならば、今ここ」という思いも強くなりました。(幹事 小吹真司)

MS ピックアップ

5月21日 柴田聡氏



『武道・仕事を通じて学んだ感謝の心』

倫理の皆さんに自分を知ってもらいたいという思いで講話しましたと話す、柴田聡会員。ずっと続けてきた極真空手を中心に、仕事やご家族に関する柴田さんの半生のお話でした。27歳の時に優勝候補筆頭で臨んだ静岡県大会の準々決勝で伏兵に敗れます。数年後、3段昇格のための30人組手の前に映画「武士の一分」や知覧特攻隊の本を読み、当時の自分の甘さや弱さに初めて気付いたと言います。現在、極真空手4段。「礼儀正しく元氣よく」をモットーに、服織道場で小学生に空手を教えています。伝えることで伝えられると話します。

クリーン大作戦(5/15)



本日は第3日曜日、朝7時から静岡駅前の朝清掃の日です。約5年は続けているので、もはやルーティンです。そのあとは小さな平屋の完成見学会でした。仕事ができる事に感謝です!(幹事 平岡伸浩)

※次回は6月19日(日)朝7:00~ホテルアソシア前です。

活動報告書 7月号

2022.6.30

モーニングセミナーピックアップ

6月18日 寺田 貴詞 氏



「一度きりの人生に、真剣勝負できているか」
モチベーショングラフというユニークな手法を用いて今までの自身の半生を紹介してくれた寺田貴詞会員。機能食品の研究者という夢に早々に見切りをつけ、キャッチのバイトで体得した営業スキルを活用し28歳で起業します。この若さで「人は鏡」だと痛感したと話します。

6月25日 三浦 健二郎 氏



「ぶれない軸を持つ」
静岡市倫理法人会の三浦会長は、現在任期3年目で今回が会長としての最後の講話となりました。趣味のマラソン、お子さんのお弁当作り、そして三浦会長が学んだり体験してきた数々の名言の紹介。三浦会長のぶれない軸はこうして強化されてきたのだと分かる、素晴らしい内容でした。

他単会での講話



金井政秀 幹事
5月26日
沼津北倫理法人会

居初邦夫 運営委員
5月31日
浜松市南倫理法人会

クリーン大作戦(6月19日)



次回の予定:
7月17日(日)
朝7:00~7:30

第3日曜日の朝7時から楽しく駅前清掃をやっていきます。来月もやります。7時から30分だけです。ホテルアソシア前に集合、開始です。誰でもお気軽にご参加ください。(平岡伸浩 幹事)

倫理実践・倫理体験報告



これまで約2年間、静岡県広報副委員長のお役に就かせて頂きました。役職上「倫理とは何か?」という問いを常に考えるようになりました。私が普段意識しているのは「打つ手は無限」という考えです。どんなことが起こっても「打つ手は無限」と認識していると、不思議と心が楽になり、積極的に目の前の状況を受け入れることができるようになります。そして絶望的な状況も必ず脱出できるのです。ですから、「倫理とは何か?」と他人から問われたら、私は(芥川龍之介の小説になぞらえて)「追い込まれた時の救済となる『蜘蛛の糸』だ」と答えます。ぜひ、皆さんにも「最悪な状況になった時の救済になる」倫理の学びを大切にしてもらえたらと思います。(藤永祐太郎 静岡県広報副委員長)

配布責任者 三浦 健二郎

活動報告書 8月号

2022.7.31

モーニングセミナーピックアップ

7月2日 松濱和幸氏



「遠きをはかる人生 そして今日は最良の一日です」

参加人数が68名(!)と、今期最多の動員数となったMSの講話者は、当単会の松濱和幸会員。トップセールスマンの彼は、講話中のキーワードを調べ上げて自分の行動に落とす努力を人の3倍しています。年輪経営で有名な塚越会長とも面会を果たし「今の業績は10年前に作られた」と聞いたそうです。まさに「遠きをはかる人生」を送っている方で、自分もそうありたいと思い、日々行動しているとのこと。

7月23日 中島大樹氏



「目標達成の技術」

「人はいつでも必ず良くなれるのです」と話す、アチーブメント株式会社の中島大樹氏。成功と失敗を分ける最大の要因は思考と行為の違いだそうです。聴講者同士の短時間のワークを挟みながら、セルフカウンセリング、理念経営、共感化について講義してくださいました。

他単会での講話



かわもとみえ専任幹事
7月1日
清水倫理法人会

影山秀樹 県副幹事長
7月5日
沼津市倫理法人会

新入会員スピーチ



見返りを一切求めない、
ヒーローの姿が大好き!
と話す杉山友香会員

静岡の土地柄・人柄に
ピンと来て東京から移
住した松田亜由美会員

倫理実践・倫理体験報告



先日、腰に電気が走るほどの痛みがあり、近所の接骨院にかかりました。そこで施術の先生が興味深い話をしてくださいました。WHOの憲章が定める健康とは「病気でないということではなく、肉体的・精神的・社会的に、すべてが満たされた状態にあること」だそうです。その話を聞き、これは万人幸福の葉の第7条(疾病信号)のことを言っているのだと解釈しました。「病気の原因になっている心のまちがいは、実は、その人の家庭の不和、事業の不振等から来るもので、(中略)自分の肉体に赤信号としてあらわれているのである」と。ですので、腰痛の根本原因である私の心の間違いを治せば、社会的にも満たされる、つまり事業も上手く行くことになります。このことに気付いた今では「心の間違いを治すのだ」という明るい気持ちで、毎週楽しく接骨院に通っているのです。

(幹事 村松秀雄)

配布責任者 三浦 健二郎